

(様式第1号)

## 自己評価及び外部評価結果票

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4191200072		
法人名	有限会社九州メディカルサービス		
事業所名	グループホーム「安心」なかばる		
所在地	佐賀県三養基郡みやき町大字原古賀190-3		
自己評価作成日	平成22年2月1日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigojouhou-saga.jp/kaigosip/Top.do">http://www.kaigojouhou-saga.jp/kaigosip/Top.do</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成22年2月19日	外部評価確定日	平成22年4月8日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ユニットA	介護とともに看護が必要な利用者様が多いので、看護面について、未然に予防できるような取り組みを行っています。
ユニットB	月のレクリエーションとして、利用者様を中心として毎月大きな張り絵のカレンダー作品を作っております。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

日当たりの良い広い敷地に立つホームは、2ユニットのそれぞれに経験豊富な看護師を配置しており、医療的な支援の充実を図っている。 管理者を中心に、「本人が落ち着いて生活できるホーム」にしたいと職員全員で作上げた理念の実践に取り組んでいる。家族や近隣の住民の協力もあり、野菜づくりは、入居者の楽しみのひとつになっている。
--

# 自己評価および外部評価結果

【セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。】

自己	外部	項目	自己評価(ユニットA) (事業所記入欄)	自己評価(ユニットB) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念は玄関に掲げている。事業所の近所の方とは関わりあいを持っているように感じるが、地域との関わりあいは少し薄いように感じられる。	玄関とフロアに掲示している。法人のクレドに従い運営している。当ホームの理念をスタッフに説明し実践している。	地域密着型サービスの意義を踏まえ事業所独自の理念を職員全員で作成している。又、職員の名札の裏に理念を書き付け、心に留めて日々のケアに取り組んでいる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	向かいの方と、畑を通して交流があり、季節の野菜を頂いたりしている。また散歩等を行った際にあいさつを積極的に行うようにしている。	散歩の時など挨拶はできている。時折近隣より野菜を頂いたり、外でお話する。	入居者と管理者と一緒に散歩も兼ねたごみ拾いを行い、地域にとけこむ努力をしている。回覧板にて地域の行事を知り、積極的に出かけるようにも努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症の人の理解や支援方法を地域の人へ知って欲しいが伝えることはあまりできていない。	地域の方へ知識の普及まではできていない。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	管理者から聞いてはいるが、向上へ繋がっているのかはよく分からない。	開催しているが、あまり生かされていないように思う。	定期的な会議の開催はできていない。開催時は、ホームの紹介等を行い、理解を得ている。	今後定期的に会議が開催され、気軽に意見交換ができる場として定着し、会議での検討内容がサービスの向上に繋がることを期待したい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	必要に応じて連絡を取り、関係を持つようになっている。	地域ケア会議へ参加して情報交換をしている。事業所の実情を積極的に市町村へ伝え協力体制はあまりできていない。	介護保険関係の手続き時に、情報交換を行っている。今後は、日頃から連絡を取りあい、協力関係を築くように努めていきたいと考えている。	様々な機会を通じて事業者と行政との関わりを持ち、問題解決とよりよい運営やサービスのあり方について一緒に取り組んでいくための更なる関係づくりを期待したい。
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束禁止は理解しているが、帰宅願望が強く、玄関から出る利用者様がいらっしゃるので、安全の面から興奮した時のみ玄関や窓の施錠を行う時がある。	安全面のため玄関の施錠を行う時はある。家族の同意を得ている。その他の拘束は行っていない。	研修会を行い、職員全員が身体拘束について理解し、拘束をしないケアに取り組んでいる。玄関の施錠は、安全に過ごせる工夫を重ね原則として夕方7時から朝8時までとしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	利用者様の状態観察等をしっかり行い、また職員間の連携をとって注意をし、また防止に努めている。	勉強会やカンファレンスなどで話し合いを行ったり、学んだりしている。		

自己	外部	項目	自己評価(ユニットA) (事業所記入欄)	自己評価(ユニットB) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	全ての職員が理解できているとはいえない。	理解できていないので、今後勉強会などを、もうけたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	早期に家族へ連絡し、同意・納得していただくよう勤めている。	管理者が立会い書類の説明を行っている。質問等あれば、伺っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族が来訪された際には疑問点などがないか尋ね、また玄関に意見箱を置いて、改善して欲しい点などないか聞くようにしている。ノートで情報交換する方もいる。	利用者や家族の意見に耳を傾けられる限り希望に添えるよう話しあいケアを改善する努力している。	入居時には管理者が本人、家族と十分に話し合いの時間を持つようにしている。入居後も便りなどを通じて、ホームでの暮らしを家族に伝え、面会時にも細やかに意見を聞くように努めている。出された意見は、月に1回の検討会議を設け、運営に活かしている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月職員のカンファレンスを行い、職員間で改善すべきところ等話し合っ て業務改善を行っている。	カンファレンス以外でも管理者へ現場の改善点などはすぐに報告している。代表者への意見はあまりできていない。	管理者は、職員がストレスを溜めずに仕事ができ、気軽に意見や提案のできる雰囲気作りに努めている。実際には、月に1回話し合いの場を設け、業務の改善につなげている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	努めていると感じるが、まだまだ改善すべき点が多く残されていると思われる。	管理者へ現場の改善点などはすぐに報告している。代表者への意見はできていない。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	同系列の事業所と共に介護員勉強会を企画から開催まで行っており、介護力のスキルアップを図っている。	定期的に勉強会などを行っている。また年2回管理者が人事考課を行い面談している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	上記のように勉強会を行い、お互い に向上するよう努めている。	2ヶ月に一度他ホームの職員と勉強会を実施し、質を向上させる様 つとめている。		

自己	外部	項目	自己評価(ユニットA) (事業所記入欄)	自己評価(ユニットB) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	何か相談事があれば相談していただき、説明を行っている。	入居希望者には、説明と、施設見学を行っている。十分に時間を掛け、本人の不安を和らげ入所につなげる。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族にも説明を行い、疑問点等があれば相談していただき、関係をよくするように努めている。	家族には、十分な説明と、施設見学を行い納得し利用していただけるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	いろいろなサービスを提示し、本人や家族の希望も踏まえた上でよりよいサービスを提供するように努めている。	入居希望者には、十分な説明と施設見学をおこなっている。居宅のケアマネとも連携をとり対応につとめる。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者とスタッフが共に暮らすような対等な関係を築くよう努めている。	お互いに協力しあい、暮らしを共にする環境がつかれるよう心がけている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月、行事等の新聞を郵送したり、面会時には近況を話したりしている。	食事や催し物を楽しめる会を開いたり、外泊・外出のお願いをしている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方々等との交流を継続できるよう、支援に努めている。	友人や昔の職場の方の面会も多い。職員も、馴染みのある場所などを、普段の会話の中に入れるよう心がけている。	友人や知人への面会や手紙、定期的な電話の支援を行っている。年賀状のやりとりなどの交流も続いている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	孤独感等をもたないよう、フロアにてレクリエーション等の支援に努めている。	個々の性格・要望等把握しホームでの作業・レクリエーションなどを支援している。		

自己	外部	項目	自己評価(ユニットA) (事業所記入欄)	自己評価(ユニットB) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了しても、相談に応じたりして関係を保てるように努めている。	退去や転居後でも、何かあれば相談に乗れるよう支援している。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者の希望を尊重し、可能な限り本人の希望に沿うような支援を努めている。困難な場合は本人や家族に同意を得て、支援を行っている。	本人の希望を確認しできるだけ希望に添うよう心がけて支援している。	契約時に管理者が、本人と家族との面談を行い、それぞれの意向を聴いている。入居後は、全職員が利用者とはぐれ合う時間を多く持つように努め、思いや要望の把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居される前の情報を本人やご家族から聞き、把握するよう努めている。	入居前に、本人・家族・より情報を取り、カンファレンス等で話し合い把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者様の状況や状態を毎日しっかり個人記録表に記録し、現状把握に努めている。	状況・状態など記入し、職員が現状を把握出来る様努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	意見等がある場合は職員間で話し合い、ご家族等にも相談を行ったうえでよりよいケアを行えるよう努めている。	本人・家族・職員の意見を聞き作成して実践している。	本人や家族とも話し合いを行ったうえで、介護計画を作っている。カンファレンス時に職員間で十分に話し合い、6ヶ月に1回の見直しを行うことで現状に即したものになるよう努めている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	状態観察を常に行い、気づき等は個人記録に記入し、情報を共有できるようにしている。	毎日ケアを実践して個別の記録をつけている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	なるべく本人様の希望に沿うことができるように対応するよう努めている。	できる限りのサービス支援には努める姿勢はある。		

自己	外部	項目	自己評価(ユニットA) (事業所記入欄)	自己評価(ユニットB) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	本人やご家族の希望を考慮し、活用できる地域資源があれば活用できるよう配慮している。	地域資源をあまり上手く活用できていないが、安全で豊かな暮らしの支援ができるよう努めている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からかかりつけ医がいる場合は可能な限り治療を継続できるよう支援を行っている。	入居前から、かかりつけ医がある場合には家族にも協力をしてもらいながら可能な限り継続できるよう支援している。	入居前にかかりつけ医についての希望を聞いている。かかりつけ医に受診をするときは多くは、家族が付き添っている。緊急時は、職員が付き添い協力医療機関を受診している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	状態観察を常に行い、少しでも変化に気付いたら看護師へ報告、相談を行い、必要に応じて受診をするようにしている。	細かな情報や気づきは、看護師に報告し、適切な看護が受けられるよう努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院された際には面会に行き、病院関係者との情報交換を行うようにしている。	入院中は職員が交代で面会へ行き、状況を把握し早期退院に繋がるよう努力している。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本人や家族の意向を確認し、ホームでも看取りまで受け入れる態勢はあるがまだ実際に看取ったことはない。	まだ看取りはないが、本人・家族の希望に添って支援していく。	入居時に、看取りの指針を説明し、状態が変わった時は随時、家族と話し合いをしている。職員全員が家族や本人の思いを理解して、ケアに努めている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを作成し、急変等にも対応できるよう備えている。	緊急時のマニュアルは作成している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2度、訓練を行っている。抜き打ちで緊急連絡回しがある。	防火訓練を行い、消防署の指導を受けている。	消防署の立ち合いで消防訓練を行っている。地域住民へ案内は出しているが、参加はまだない。今後は、消防団との連携を図っていく予定である。	夜間等職員だけの誘導の限界を具体的に確認し、地域住民の参加協力を得た訓練の実施も期待したい。

自己	外部	項目	自己評価(ユニットA) (事業所記入欄)	自己評価(ユニットB) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの性格を関わりを持つことで理解していき、利用者様個人の誇りやプライドを傷つけないように留意して言葉選びに注意して接している。	馴れ合いの言葉にならないよう配慮している。特に排泄などの羞恥心に関する声掛けには配慮するように心掛けている。	職員全員が「言葉選びを大切にしたい」という思いを持ち、人格を尊重し、誇りやプライドを損ねないように、その人にあった呼びかけや言葉かけの実践に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様のご希望を訴えられた時には出来る範囲で対応している。	焦らせずゆっくりと話を聞き希望に添えるよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様本人の希望を考慮し支援を行っている。	体調などを配慮しどのように過ごすか本人の意見を聞くように努める。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご自分で更衣が出来る方はスタッフは最低限の介助を行っている。一人で更衣が無理な方でも、一緒に服を選ぶ等行っている。	入浴後クリームなどをつけたり、希望により美容室等に行ったりしている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備は食中毒などの衛生面を考慮し、職員がほとんど行っているが、簡単な準備(台ふき等)は利用者様にやっていただいたりしている。	配膳や食器洗いなどのかたづけは、できる範囲で一緒に行っている。干し柿作りやぜんざい作りなど、季節の物も取り入れている。	宅配の材料を利用し、職員が調理をしている。献立を変えたり、形態を変えるなどの支援に努めている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量はチェックを行っている。水分摂取は定時にいただくようにしている。	細かに観察し、個々の状況・状態にあわせている。福祉食を契約し、提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	残存機能に応じた毎食後の口腔ケアの支援を行い、清潔保持を行っている。	個別のケアを行っている。歯科衛生士による口腔ケアの勉強会も受け実践している。		

自己	外部	項目	自己評価(ユニットA) (事業所記入欄)	自己評価(ユニットB) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個人にあった排泄支援を行い、できるだけ腹圧のかかるトイレでの自然排泄ができるよう支援している。	オムツはずしを目標として、自立排泄にむけ、習慣化するようリズムをつくったりしている。	個々の排泄パターンを把握し、おむつ使用からトイレでの排泄までの間に、羞恥心にも配慮し自立に向けた支援が行われている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	なるべく薬に頼らないよう腹部マッサージを行ったり、毎朝牛乳を飲んでいただいたりしている。	出来るだけ薬に頼らず、乳製品を飲んだり、マッサージなどを取り入れ便秘予防に努めている。便秘時には看護師に相談して対応している		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	面会の多い日曜日以外に入浴介助を行い、曜日に入浴される人を決めてはいるが、希望があれば時間を変えるなど配慮している。	入浴日はある程度決まっているが、入りたい時間帯や安心できるような環境作りや、声かけの支援をしている。	原則的に、曜日や時間が決められているが、毎日入浴したい方は、別のユニットの浴室を利用することができるようになっている。本人の希望で、女性スタッフが対応をしたり、入浴を好まれない方へは、個別に工夫した誘い方をして入浴の支援が行われている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人様が希望されたら、横になっていただいたり、足浴等を行って安眠していただけるよう努めている。	入居者の状況に応じて室温の調節や、湯たんぽ、足浴等をして安眠できる環境を支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の内容の説明は行っている。変更や臨時薬があった際にはその都度説明を行っている。また、状態観察をいつも行うよう努めている。	処方箋は、職員が見れるようにしている。服薬変更時は、看護師に説明してもらっている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者様の生活歴等を考慮し、個人の能力を見極め生きがいとなるよう支援を行っている。	今まで行ってきた生活を、ホームでも継続出来る様支援している。嗜好品は主治医や看護師に相談してできる限り支援する。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候等も考慮し、出かけられる日はできる限り散歩等の外出支援を行っている。また、ご家族の方々とも協力して外出や外泊できるようにしている。	天気の良い日にはできる限り出られるようにはしている。遠出は家族の協力もある。	季節の花を見にドライブに出かける行事が多く行われている。誕生日は、本人の希望を最大限に取り入れる日としており、個別の外出対応がなされている。日常的にも、散歩の支援を行い、家族が面会に来て外泊されることもある。外出の機会を持ってもらうよう工夫されている。	



自己	外部	項目	自己評価(ユニットA) (事業所記入欄)	自己評価(ユニットB) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自分で管理できる人には買い物等で自由に使えるように支援し、必要であればそのそのお金を使い買い物の支援をしている。	お金を持ってあるかたはいない。買いたいものあれば、代わりに買いに行くようにはしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人様から「自宅に電話したい」と訴えがあった際には電話をかけていただいている。	希望あれば直接電話で話せるようかけてもらっている。手紙の支援はしていない。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	落ち着いた配色の物を使用し、壁などにも季節感を取り入れた飾りを飾るなど工夫を行っている。玄関に花を飾っている。	玄関に季節の花をプランターに入れかけている。室内には花や飾り等を置き季節感をだしている。	多くの利用者は、日中ダイニングテーブルにて過ごされているが、居間の隅に配したソファや畳のコーナーにて一人で過ごすこともできる。静かで心地よい空間が作られている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	和室やソファなど、ご自分で過ごしたい場所を確保できるようにしている。	個室のほかに、談話できる和室スペースがある。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人様やご家族の意見も十分に考慮した上で、本人様にも納得していただける環境となるように努力している。	できるだけ自宅で使い慣れたものを持って来てもらい、本人にとって過ごし易い環境を作っている。	使い慣れたものを持ってきてもらうよう家族に対し働きかけている。また、一人ひとりの身体状況に合わせた、安全で、心が落ち着き安心できる空間を利用者とともに作り上げている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	不便に感じた箇所は話し合い、入居者の残存能力を活かした生活ができるよう環境を整えていくよう努めている。	個々の能力・希望を把握し、自分らしく生活できるよう努力している。		

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目)

※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
		ユニットA	ユニットB	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。  (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。  (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。  (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。  (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。  (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。  (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
		ユニットA	ユニットB	
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない